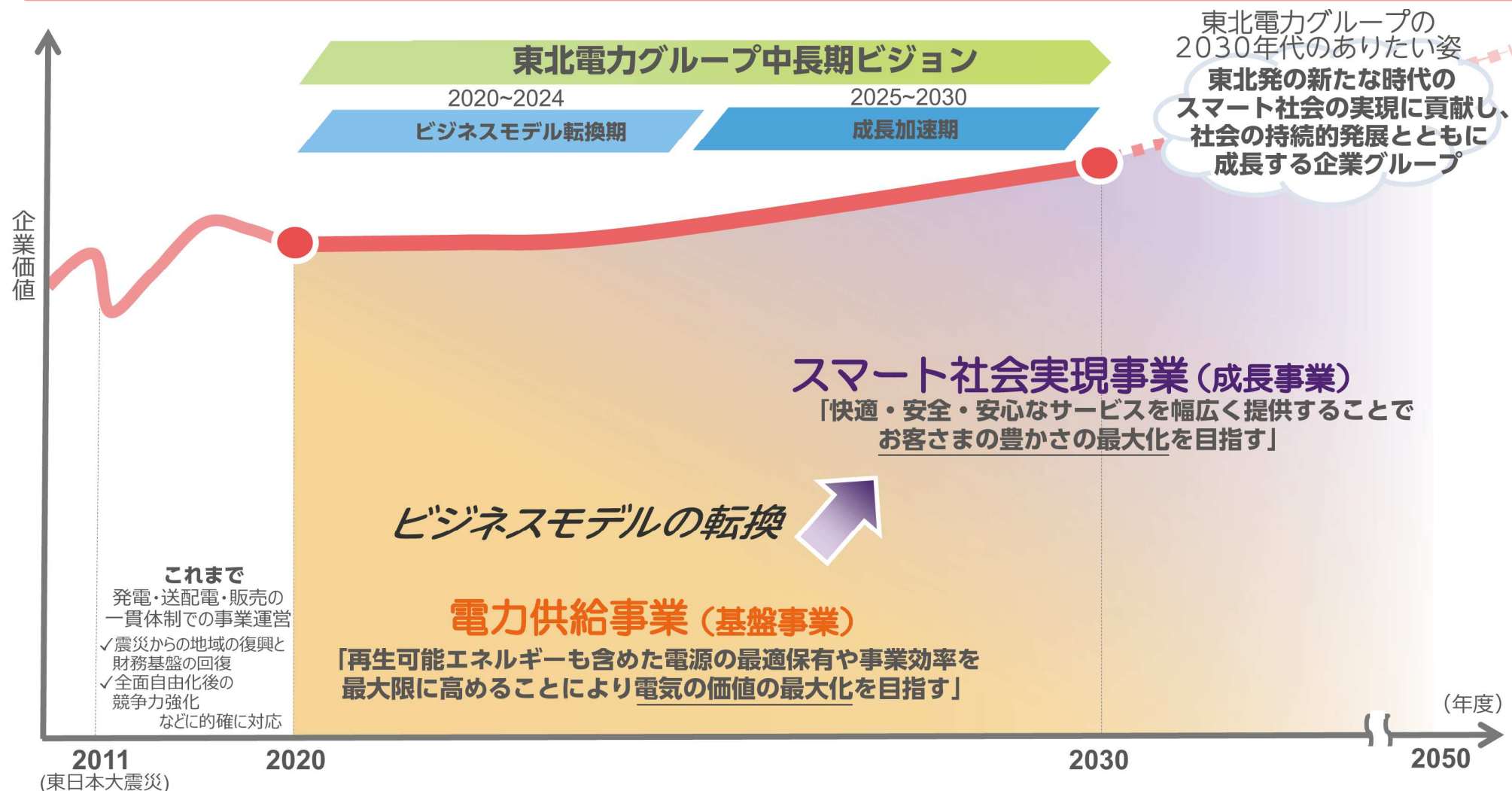


東北電力グループ 中長期ビジョン <概要版>

Tohoku Electric Power Group Management Vision

スマート社会の実現に向けて、ビジネスモデルを転換し、持続可能な成長を目指します

東北電力グループ経営理念「地域社会との共栄」 東北電力グループスローガン「より、そう、ちから。」



- 東北6県・新潟県を中心に電力供給を担い続ける
- スマート社会の実現に向けた事業を通じて、社会の持続的発展と自らの成長を両立

2030年代のありたい姿

[東北電力グループの2030年代のありたい姿]

東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、
社会の持続的発展とともに成長する企業グループ

[事業ドメイン]

電力供給事業（基盤事業）

発電・卸売

送配電

暮らし・ビジネス
関連サービス

電力小売

次世代エネルギーサービス
(VPP、蓄電池等)

ガス販売

地域インフラ

スマートシティ
マネジメント

モビリティ

スマート社会実現事業（成長事業）

お客さまのご期待
社会課題

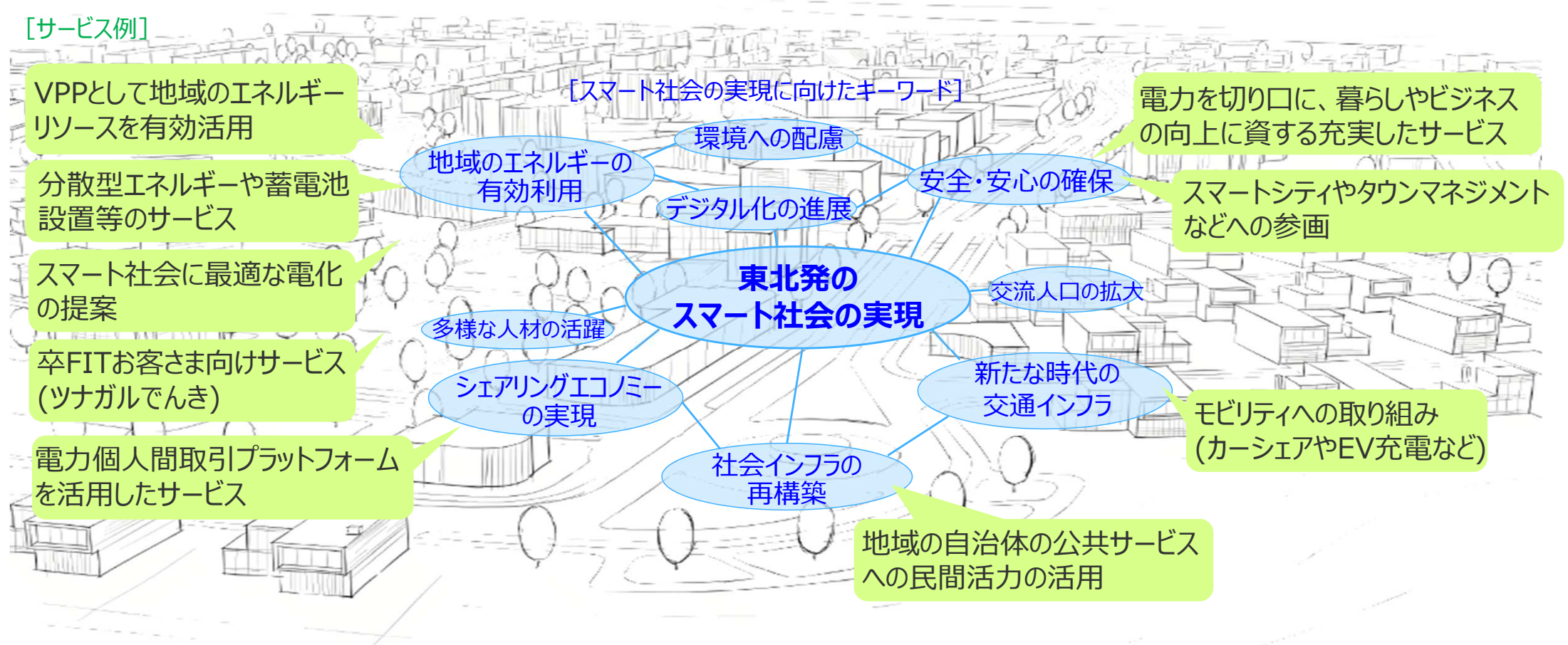


- 「電力供給事業」・・・構造改革を通じた徹底的な競争力強化により安定的に収益を確保
- 「スマート社会実現事業」・・・経営資源を戦略的に投入していくことで、**ビジネスモデルを大きく転換**

ありたい姿の実現に向けた戦略 ～「スマート社会実現事業」

- 社会課題を解決し、地域に住む方々が快適・安全・安心に暮らすことができる「スマート社会」を実現する事業（＝スマート社会実現事業）を成長事業として位置付け
- お客さまの豊かさの最大化を目指して、**ビジネスモデルの転換に挑戦**

東北電力グループの強み × デジタルイノベーション・多様なパートナーとの協働 = スマート社会実現に資する新たな価値を創造

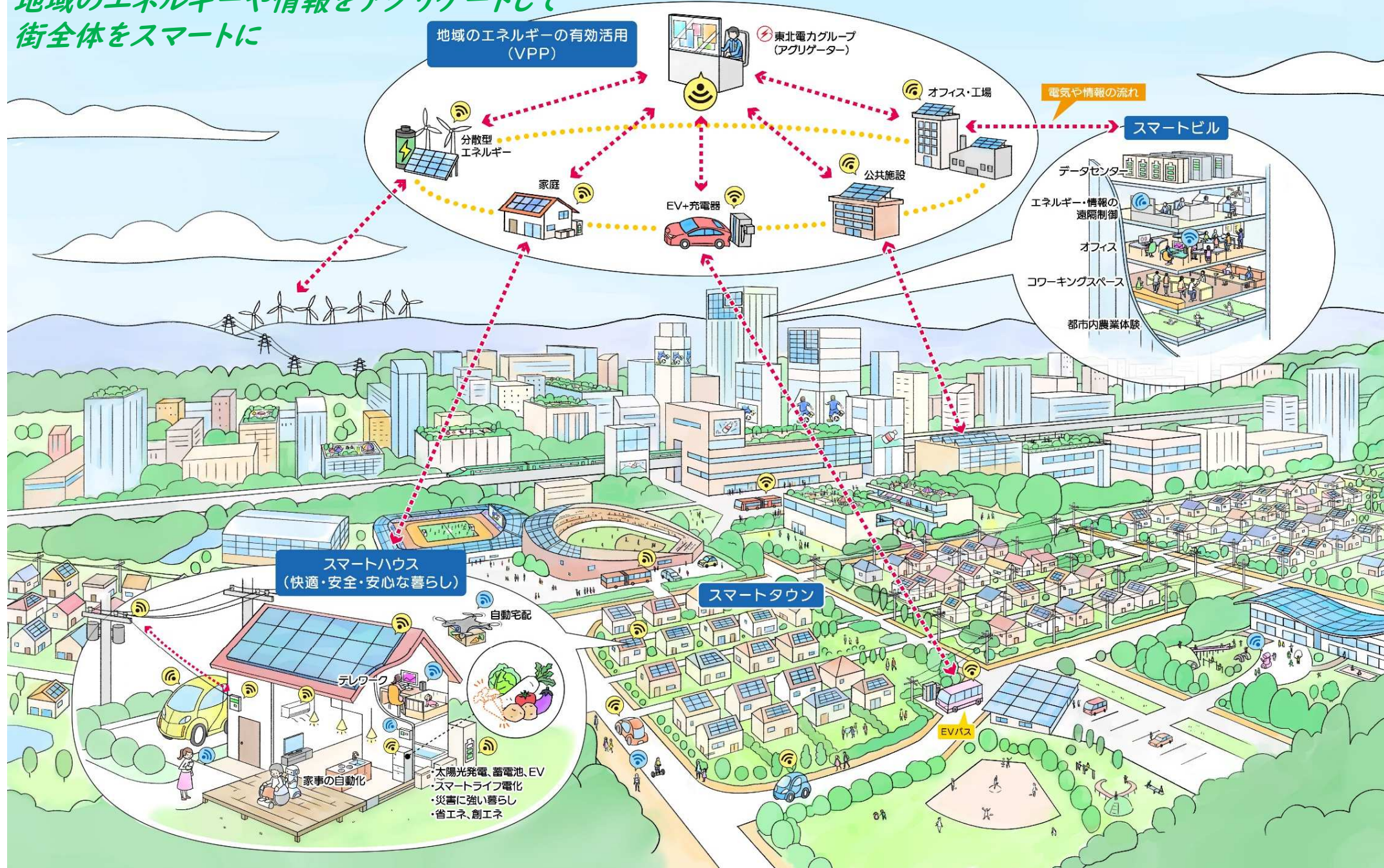


スマート社会実現事業の将来的なイメージ



スマート社会実現事業の将来的なイメージ

地域のエネルギーや情報をアグリゲートして
街全体をスマートに



ありたい姿の実現に向けた戦略 ～ スマート社会を実現するための「電力供給事業」

■ 基盤事業である「電力供給事業」は、「発電・卸売」「送配電」が、各々の事業効率を最大限に高め、安全確保を大前提に、安定供給、経済性、環境性の同時達成を図りながら、お届けする電気の価値の最大化を目指し、スマート社会の実現にも貢献

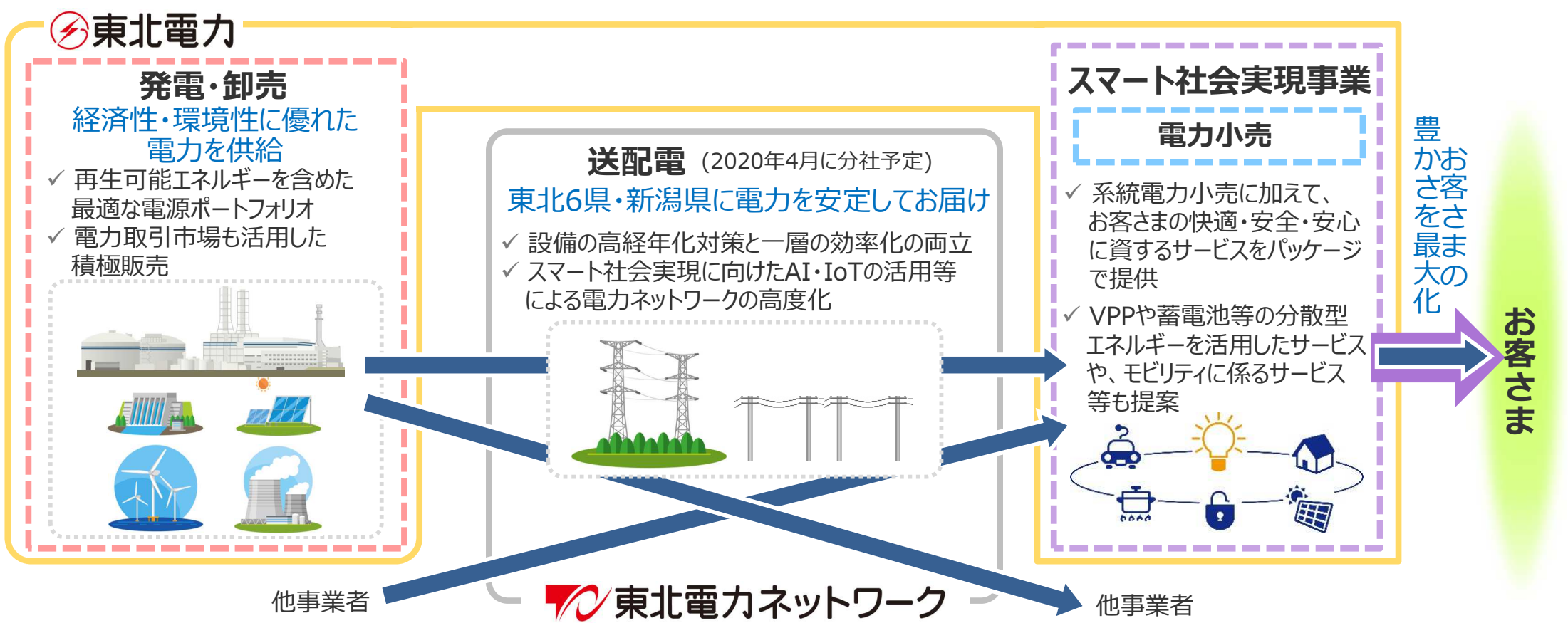
お届けする電気の価値の最大化

×

企業グループの連携による総合力発揮

=

電力供給事業の競争力の徹底強化



ビジネスモデル転換期の取り組み方針 ～「2020年度東北電力グループ中期計画」の力点

- 2020～2024年度を「ビジネスモデル転換期」とし、ありたい姿の実現に向けた取り組みを推進

力点1 “Change”

電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

力点2 “Challenge”

スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

力点3 “Create”

企業価値創造を支える経営基盤の進化

ビジネスモデル転換期の取り組み方針 ～「2020年度東北電力グループ中期計画」の力点

力点1 “Change” 電力供給事業の抜本的変革による競争力の徹底強化

発電・卸売

原子力発電

- ✓ 安全確保を大前提に、地域の皆さまのご理解をいただきながら、原子力発電所の早期再稼働

火力発電

- ✓ 上越1号の着実な開発

再生可能エネルギー

- ✓ 風力発電を主軸とした200万kWの再エネ開発

電力卸売

- ✓ 卸売・市場取引の積極推進

送配電

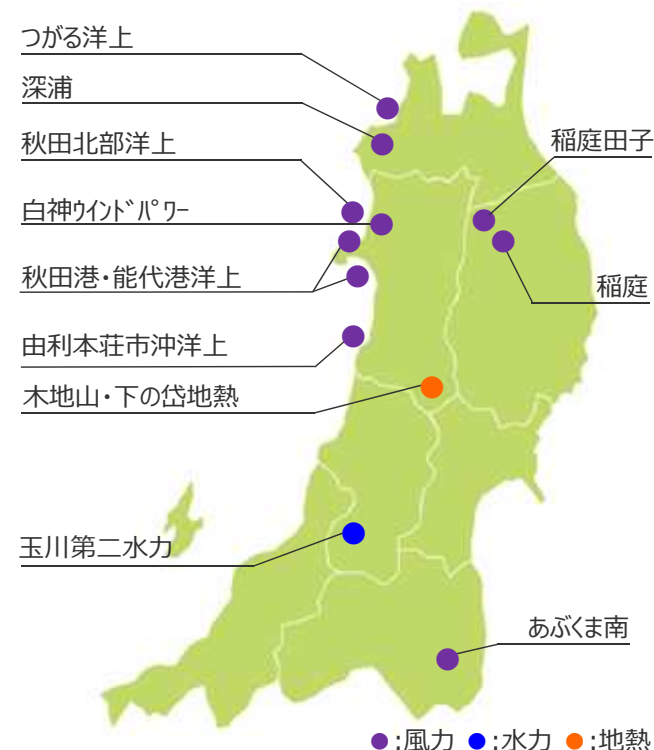
東北電力ネットワーク

送配電事業は2020年4月に「東北電力ネットワーク株式会社」に分社します

- ✓ レジリエンスの強化
- ✓ 設備の高経年化対策とAI・IoTの活用等による徹底的なコスト低減の両立
- ✓ スマート社会実現に向けた電力ネットワークの高度化



安全対策工事の進む女川原子力発電所



当社グループの主な再生可能エネルギーの開発・参画地点（開発可能性調査等も含む）
（2020年2月現在）

ビジネスモデル転換期の取り組み方針 ～「2020年度東北電力グループ中期計画」の力点

力点2 “Challenge” スマート社会実現事業の早期収益化への挑戦

✓ エネルギーとサービスのトータルパッケージでの提供による
お客さま満足度向上と収益力強化

✓ 東北6県・新潟県の都市ガス事業者との連携による
トータルエネルギーソリューションの提供

✓ VPPや分散型エネルギー・蓄電池設置等のサービスの
早期事業化

✓ モビリティサービスの検討・展開

✓ スマートシティやタウンマネジメントへの参画

より、そう、ちから。

東北電力のくらしの
トータルサービス +ONE

くらしサポート マカブ コンシェルジュ

・子どもの居場所確認サービス
「よりそうこっち」



・地域のイベント&お得情報
「おでcafe」



・お客さまの電化導入サポート
「ここ電化」



・コミュニケーションロボット
「BOCCO」を通じた
生活アシストサービス



ご家庭向けの暮らしサポートサービス
「マカブコンシェルジュ」



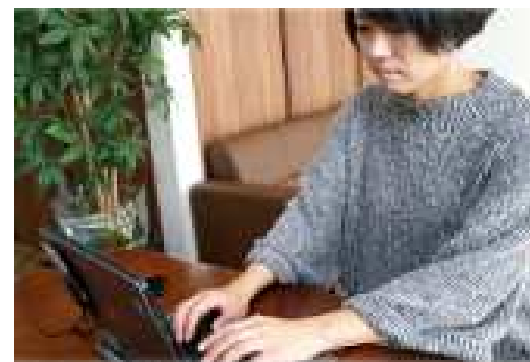
世界最大規模のVPP事業者
「Next Kraftwerke社(ドイツ)」との戦略的な連携



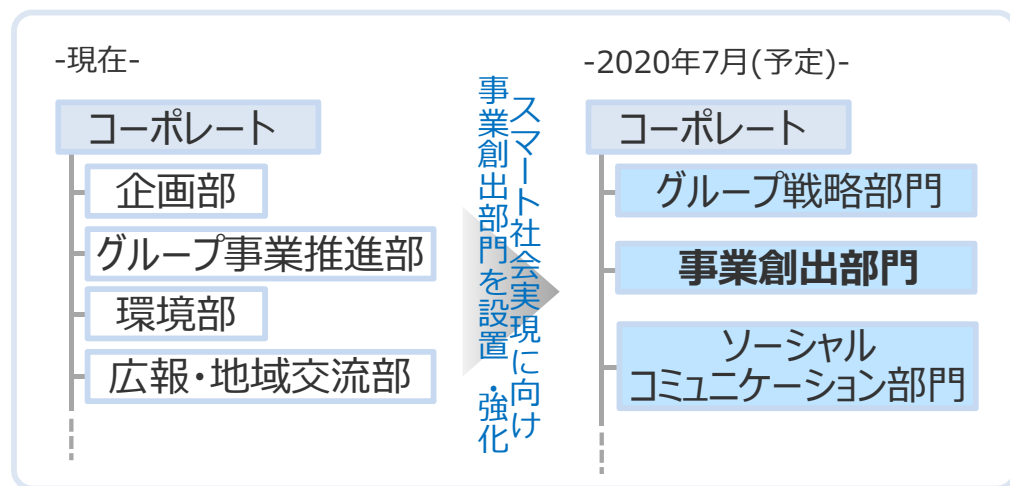
日産自動車株式会社、三井物産株式会社、
三菱地所株式会社との連携による「V2G実証」

力点3 “Create” 企業価値創造を支える経営基盤の進化

- ✓ ESG（環境、社会、ガバナンス）を重視し、経営資源を有効活用しながら、企業価値創出能力を強化
- ✓ スマート社会実現に向けた事業創出部門の設置・強化（2020年7月コーポレート組織を再編）
- ✓ 働き方改革の加速、ダイバーシティの推進
- ✓ 企業グループ全社員による「より、そう、ちから。」の体現



「在宅勤務制度の拡充」など
多様なワークスタイルを推進



コーポレート組織の再編の概要



管理職を対象とした
「ダイバーシティ・マネジメント研修」

定量的に目指す姿（財務目標）

- ビジネスモデルの転換を成し遂げるために必要となるキャッシュ創出力の向上に向けて、財務目標として連結キャッシュ利益（算定方法：営業利益＋減価償却費＋核燃料減損＋持分法投資損益）を設定
- 連結キャッシュ利益は、2024年度に、目標の3,200億円以上を達成し、長期的に持続可能なキャッシュ創出力の基盤を構築するとともに、将来的にはさらなる成長を目指す
- 加えて、多様なステークホルダー等への着実な還元も行う

